

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 野田矯正歯科クリニック 院長 野田隆夫 先生
2. 演 題 埋伏歯の矯正歯科治療 一歯胚は回転する一
3. 日 時 平成29年4月28日(金)17時00分～18時30分
4. 場 所 7号館(歯学部校舎棟)2F 第2講義室

5. 要 旨

埋伏歯や半埋伏歯は矯正歯科的視点では保存が第一選択である。例えば、萌出方向異常の上顎埋伏犬歯は、前歯の歯根を吸収することが多いため、確認次第、開窓・牽引を行う。治療の目的は歯根吸収の予防である。また近心傾斜した半埋伏下顎第二大臼歯は、歯冠周囲炎を生じやすいため整直を行う。治療目的は、究極的には臼歯の嚥下機能の維持である。つまり医療は技術革新を進めるとともに、地平線の彼方を見据える視野が必要である。

連絡先： 島崎 一夫 (咬合機能矯正学分野 内線 5963)